

		【修正日】平成30年 1月31日
【大分類】設計一般	【小分類】桁橋	【作成日】平成20年 4月 1日
<p>【Q-8】</p> <p>移動量の計算の際に、温度時の移動量と地震時の移動量とは別になっているが、地震時+温度時は考慮しなくてよいか。</p>		

【キーワード】 移動量, 地震時

<p>【A-8】</p> <p>平成24年版の道路橋示方書では考慮していなかったが、平成29年の改定で、道路橋示方書 I 3.3に以下が規定された。</p> <p>⑨D+PS+CR+SH+E+HP+(U)+TH+(TF)+(SW)+GD+SD+WP+EQ+(ER)</p> <p>⑩D+PS+CR+SH+E+HP+(U) +(TF) +GD+SD+WP+EQ+(ER)</p> <p>道路橋示方書 I 3.3解説には、「様々な形式の橋を適確に設計できるようにするためには、橋の供用中に実際に生じ得る荷重同時載荷状況を考慮する必要性が従来にも増して高まっていると判断されたことから、この示方書では、モンテカルロシミュレーション結果も参考にしながら、温度と地震の組合せなど、複数の変動作用を同時に組み合わせる設計状況も設定されている。」とある。</p> <p>※支承便覧との整合を確認する必要あり。 ※道路管理者の意向を踏まえ検討。</p>

【参考文献】
道路橋示方書・同解説 I : (公社)日本道路協会 (平成29年11月)